

市町村名	大宜味村						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	結の浜地区海浜等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	結の浜地区において観光の振興を図るため、人工海浜及び周辺施設整備に向けた基本計画の策定。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( )						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 ■その他(報償費)						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	24,228	-			
		(b)予算現額	13,920	-			
		(c)増減額(b-a)	▲10,308	-			
		(d)繰越額		13,898			
	A.計(b+d)		13,920	13,898			
	B.執行済額		22	13,244			
	うち交付金充当額		17	10,595			
	次年度繰越額		13,898	-			
	執行率(%) (B/A)		0.2%	95.3%			
予算の状況の説明		基本計画策定業務内容の精査等により、11,609千円を3月補正で減額した。 また、位置や規模の検討において、関連団体との調整に不測の日数を要したため、委託費と補償費併せて13,898千円を令和2年度に繰越した。なお、委員会日数減等により不用額が発生し、95%の執行率となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	結の浜海浜整備基本計画の作成		目標 (基本計画の作成)	( )	( )	( )	
			実績	基本計画の作成完了			
		目標 ( )	( )	( )	( )		
		実績					
達成状況説明	海浜基本計画策定委員会を立上げ、計4回の委員会を経て、令和2年度に結の浜海浜整備基本計画作成が完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R7年度)
	結の浜海浜整備基本計画の策定		目標 ( )	(基本計画の策定)	( )	( )	( )
			実績	策定完了			
	【参考指標】		目標 ( )	( )	( )	( )	(80%以上)
施設利用者の満足度評価		実績					
進捗状況説明	結の浜海浜整備基本計画が策定できた。						

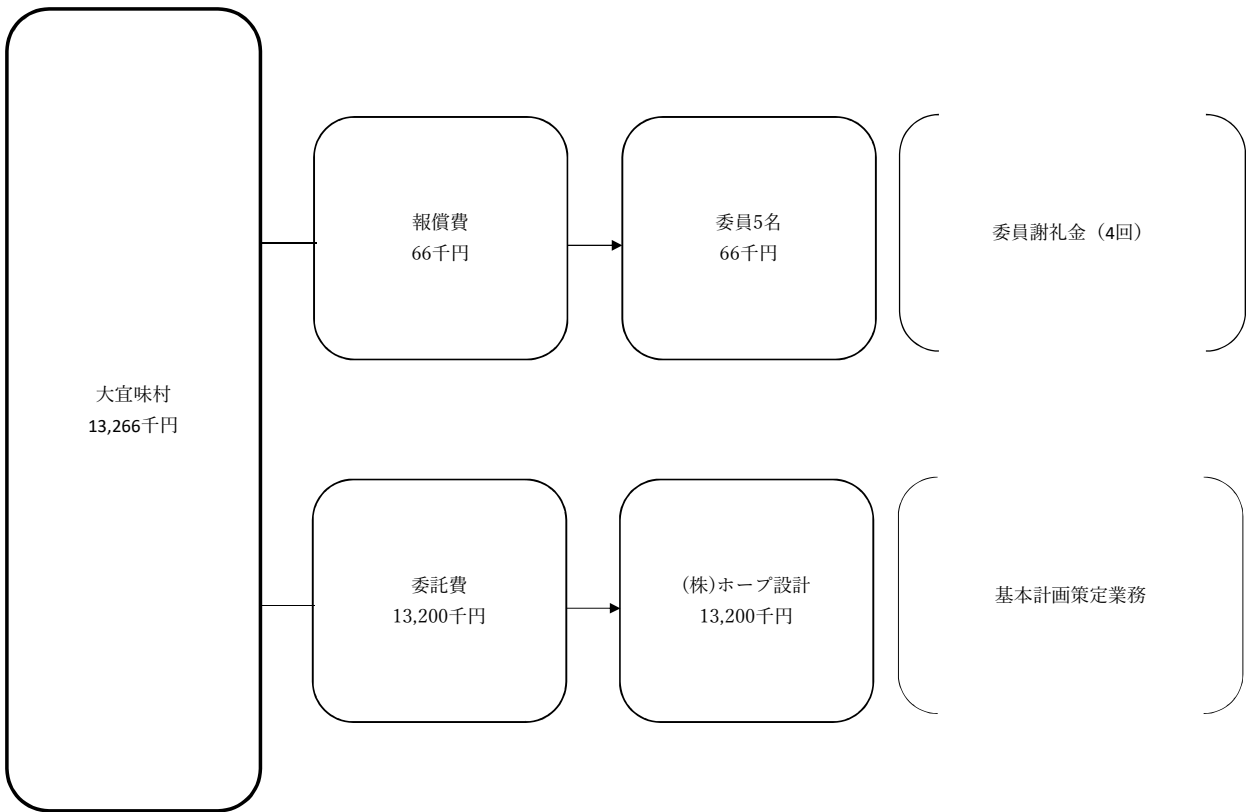
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>利用者の満足度を高い水準で維持し、継続的施設を目指すため、海浜及び周辺施設の整備にあたっては、安心・安全・快適性に特に配慮し、施設利用者の安全性を保ちつつ、観光客や利用者の利便性の向上に留意する。</p>	<p>水難事故及び施設における事故を予見し、整備の詳細検討と同時に施設の管理面においても管理の手法等を決定していく。</p>

**今後の取り組み方針**

令和3年度以降に施設整備の実施設設計及び管理運営手法の検討を実施し、継続して施設整備を実施と同時に管理者と安全性及び利便性を踏まえた管理のあり方を協議し、ハード及びソフト両面において、安心・安全・快適性を持った利便性のある施設整備を図る。  
 整備完了後も利用者満足度の結果等を踏まえながら、改善点を洗いだしながら、管理者と協力して対処し利便性ある施設として継続的な運営を図る。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
13,266	13,266	10,612	2,654	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考える。          ○委員会減少等により、5%の執行残がでたが、概ね執行することができ予算は適正であった。          ○費用、用途については、完了時に検査を実施しており、事業目的に即して適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	第二次大宜味村観光振興基盤整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ		
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	観光振興を推進するため、これまでの施策の検討を行うとともに、村の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( )						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(報償費)						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,384	—			
		(b) 予算現額	10,597	—			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 787	—			
		(d) 繰越額		10,349			
	A. 計(b+d)		10,597	10,349			
	B. 執行済額		248	10,050			
	うち交付金充当額		198	8,238			
	次年度繰越額		10,349	—			
	執行率(%) (B/A)		2.3%	97.1%			
予算の状況の説明		基本計画策定業務内容の変更に伴い事業費(委託費・需用費・報償費)を翌年度(令和2年度)に繰り越した。また、入札残等による不用額により、97.1%の執行率となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	大宜味村第二次観光振興基本計画の作成		目標 (基本計画の作成) ( ) ( ) ( ) ( )				
			実績	基本計画の作成完了			
			目標 ( ) ( ) ( ) ( )				
		実績					
達成状況説明	大宜味村第二次観光振興基本計画は、策定委員会を計5回、庁内委員会を計4回、住民意見交換会、講演会・ワークショップ等勉強会を経て、令和2年度に大宜味村第二次観光振興基本計画作成が完了した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R7年度)
	大宜味村第二次観光振興基本計画の策定		目標 ( ) (基本計画の策定) ( ) ( ) ( )				
			実績	策定完了			
			目標 ( ) ( ) ( ) ( )				
			実績				
進捗状況説明	大宜味村第二次観光振興基本計画が策定できた。						

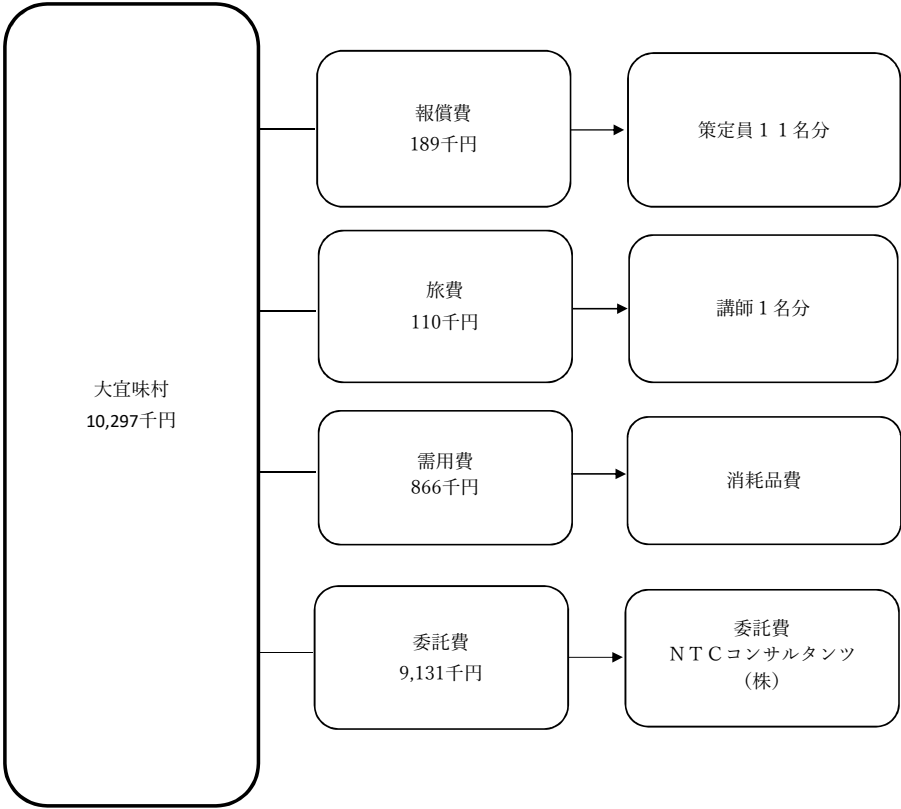
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>村民、行政、観光協会、観光関連団体の全ての関係者が共通の認識を持ち、それぞれが担う役割を自覚し、お互いに連携しなら実施していく。</p>	<p>本計画の取り組みを推進し目標を達成するため、大宜味村企画観光課を審議機関と位置付け、大宜味村観光協会、関係各課から進行状況の報告を定期的な受け、必要に応じて計画の見直しを行う。</p>

**今後の取り組み方針**

これからの大宜味村の観光振興について、「自分たちが楽しむ(魅力の磨き上げ)」「来てもらう・楽しんでもらう(交流人口の増加)」「より深く知ってもらう(認知度の向上)」をステップアップのイメージとし、観光振興の理念として4つのキーワード「ぶながやの里」「芭蕉布の里」「シークワサーの里」「茶寿の里」を掲げ、5つの基本方針を具体化するとともに、大宜味村の観光振興を目指す将来像として、「交流人口の増加、就業機会の拡大につながる観光振興」「リピーターを大切にす観光振興」「周遊観光、滞在型観光への転換」の3つの目標を達成することで「自然と文化が織りなす、優雅な茶寿の里」を実現します。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,297	10,297	8,238	2,059	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考える。          ○委員会減少等により、5%の執行残がでたが、概ね執行することができ予算は適正であった。          ○費用、用途については、完了時に検査を実施しており、事業目的に即して適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	